



# えどとり学童だより 8

平成30年2月16日発行  
江戸川学園取手小学校

## えどとり学童の豆まき

校長 若林富男

「鬼は外、福は内」ご家庭では豆まきをなさいましたか。鬼の面を付けたのは、誰だったでしょうか。鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意味合いがあります。季節の分かれ目にあたり、自分の中に棲む邪悪なものを追い出せたことと思います。

たくさんの絵だより帳に、各ご家庭の節分の様子が描かれていました。



えどとり学童でも、写真のようなかわいらしい鬼のお面を作りました。紙で豆もたくさん作りました。そして、2月2日(金)の学童の時間に、体育館で豆まきをしました。

お正月、節分、ひな祭りなどの社会的行事は、謂れを確かめながら、行事を楽しむ体験をしておくことが大事です。今、カルタや凧揚げ、こま回し、双六などのお正月遊びを知らない子が増えてきているのは、大人の責任でもあります。「和」(日本)にこだわってみるのも一策です。

1年生は1月半ばから、生活科の時間に昔遊びをみんなで楽しんでいました。2月2日には「昔遊びの会」を企画し、保護者や祖父母の方といっしょに、お手玉や羽子板はねつき、おはじき、あやとり、こま回し、めんこ、うたあそびなどをしました。

## ✿日本の遊び✿

1月と2月は、日本の伝統的な遊びを楽しみました。まずは、凧揚げです。それぞれの凧に思い思いの絵を描いて、大空高く凧をあげました。風によって上手に飛ばせるかな? 「今だよ! 走って、走って!」「ああ、糸がからまっちゃう!」元気な声が校庭いっぱい響いていました。

教室に戻ると、「はなのいろは〜」抑揚のある、流暢な百人一首の上の句が聞こえてきました。この日に楽しんでいたのは、4年生です。4年生では、国語の時間に百人一首大会が催されるほど大人気の遊びです。



流暢に読み札を読む姿は、大人顔負け! 「ちはやふる」の一場面

を見ているようです。この百人一首は、5年3組の保護者の方がご寄贈してくださったものです。大切に使用させていただいています。ご寄贈いただき、ありがとうございました。(梶原)

